

2025 年度 環境報告書



改定履歷

[illegible]

■環境方針

東京都グリーン購入推進方針の意義を理解し、環境配慮に関する考え方と活動状況等を報告するツールとして位置づけ、今後の取り組みの更なる向上に繋げる事を目的としています。

1. 報告対象の範囲

本社、深川工場、矢板工場における2025年4月1日より2026年3月31日までの活動を中心に一部2026年4月以降の活動内容も報告します。

2. 環境マネジメント活動の意識向上と推進

板紙・機能用紙・情報記録用紙の印刷加工、ペーパークラフト製品の企画販売を主とする事業活動において、環境に及ぼす影響を積極的に考え、環境マネジメント活動の推進に努めます。

3. 環境法令の遵守

環境基本法第三節に則り、大気・騒音・水質・土壌に係る環境基準を遵守します。

4. 省資源やCO2排出量削減に関する取り組み

電力使用量、社用車のガソリン使用量、PPC用紙の使用量を把握する事で、次年度の削減に向けて意識向上に繋がります。

5. 環境マネジメント規格の認定取得に向けた取り組み

より具体的に環境に配慮した事業活動に取り組むべく、環境推進工場認定、グリーンプリンティング認証、エコアクション21などの取得を目指します。

6. 不要資材を活かす取り組み

工場における加工過程や余剰在庫で不要になった資材をただ廃棄するのではなく、活かす取り組みを推進します。周辺地域の社外活動にも積極的に参加して弊社環境方針への理解に繋がります。

■主な取り組み 2025年4月～

展示会への出展

中小企業新ものづくり新サービス展、ギフトショーLIFE×DESIGN(江東ブランドブース内)に紙自着テープ、竹紙サーマルロール紙を出展しました。紙自着テープは指で押さえる(加圧する)と、テープの糊面同士のみが接着する紙テープでホッチキス不要の為、植物の誘引結束などで好評を頂きました。

地域イベントへの出店

弊社が運営する「とじ郎倶楽部オンラインショップ」では“巻いた物に糊残りしない紙自着テープ”をはじめ、特殊紙・機能紙を用いた文具・雑貨を販売しています。製品加工の過程で発生する端材や余剰在庫について、単に廃棄するのではなく、新たな価値を生み出す資源として活用する取り組みを進めています。その取り組みの一つとして、地域イベント(モノマチ等)へ出店しています。地域イベントでは、製造過程で発生した製品化できない紙(残紙)を廃棄せず、「端紙(はがみ)」として販売しています。これにより、廃棄物削減だけでなく、紙素材の魅力や再利用の可能性を地域の方々に伝える活動にもつなげています。

保育園への寄付

知人繋がりがきっかけとなり、2024年から台東区の花川戸保育園に端紙や不要になった紙管(レシートロール紙の芯の部分)を遊具用・制作材料として寄付する取り組みを実施しています。また、2026年5月に開催されたモノマチ2026では、本社近くのレイモンド保育園から端紙や紙管等の工場廃材物の活用についてご相談をいただきました。今後も寄付の取り組みを続け、この活動を全社員で共有する事で「余剰資材や不要資材をただ廃棄するのではなく活かす」という意識向上に努めてまいります。

積極的な協業

UVインクジェット印字受注先のパルプモールドメーカーとアパレル流通を弊社で仲介し、“服飾生地のリ利用・製品化”の取り組みとして、ジーンズの生地を粉碎しパルプモールドに混抄、弊社で印字加工したノベルティ“紙製だるま”を作成・販売しました。当初は別々に印字の仕事を受けていましたが営業担当が環境配慮品に取り組んだ結果、製品化に結び付ける事が出来ました。

契約電力、環境配慮型製品への切り替え

各加工機にコンプレッサーを配置するのではなく、大型のコンプレッサー一台に集約させることにより省電力化を図る圧縮エアの集中管理の採用、照明のLEDへの切り替えなどに取り組んできましたが、2025年5月から矢板工場、深川工場の契約電力をCO2フリー(CO2換算値ゼロ)に切り替えました。又、UVオフセット印刷で使用しているグレージング除去剤・エッチ剤を、グリーンプリンティング資機材認定された環境配慮型製品への切り替えを進めるべく2026年6月から随時取り寄せて検証を開始しています。

■2025 年度実績

・PPC用紙の使用量(B5、A4、A3 サイズの合計枚数)

鳥越本社	…	125,000 枚	2024 年度実績 114,500 枚
深川工場	…	58,000 枚	2024 年度実績 47,500 枚
矢板工場	…	105,000 枚	2024 年度実績 85,000 枚

・社用車ガソリン使用量及び CO2 排出量

2024 年度	393km	…	排出量 49.125kg
2025 年度	598km	…	排出量 74.750kg

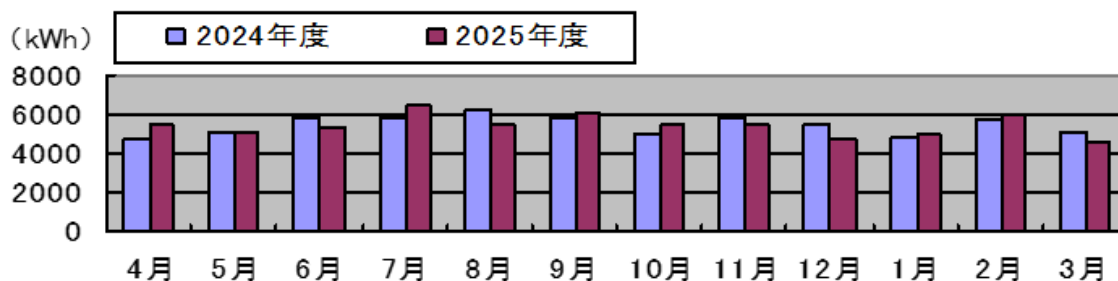
・電力の CO2 排出量

鳥越本社	…	11,179.89kg	2024 年度実績 11,335.55kg
深川工場	…	24,391.03kg	2024 年度実績 27,921.38kg
矢板工場	…	80,343.35kg	2024 年度実績 81,042.99kg

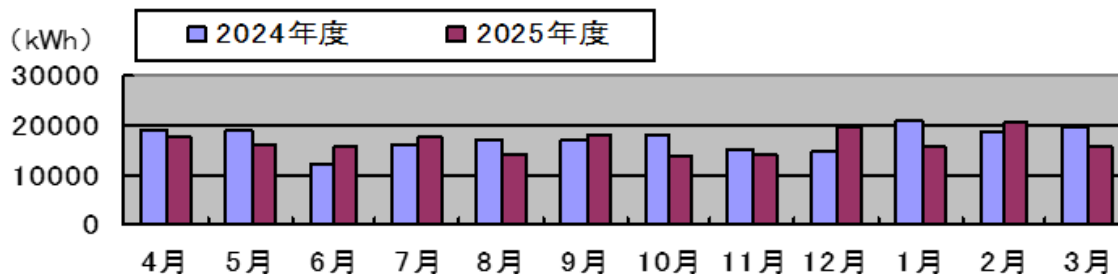
※環境省・令和 7 年度の電気小売り事業者の CO2 排出係数を参照

※矢板工場、深川工場の電力は 2025 年 5 月以降 CO2 フリーに切り替えています但電力使用量比較の都合上、上記数値には反映させていません。

■深川工場 電力使用量



■矢板工場 電力使用量



■本社 電力使用量

